

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	3.87	
	「3歳未満児保育」	32	4.56	
	「3歳以上児保育」	53	3.91	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.69	
	「健康・安全」	29	4.59	
	「子育ての支援」	18	4.17	
	「職員の資質向上」	9	4.11	
	計	172	4.25	
総合 評価	<p>地域の方より裏山をお借りしたことで、自然と触れ合う機会が増えた。自然物を使った遊びを考えたり、自ら体験することで危機意識を持ったりしながら、様々な活動を通して、気付いたことや感じたことを自分たちの言葉で伝えようとする豊かさが感じられた。保育教諭は、プロジェクト保育を行いながら、子どもたちが自然と対話する姿から様々な成長に気づき、受容し関わりを深めていくことで、自身の成長にも繋がった。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	定期的な声掛け、個々の業務の把握を行い、グループ同士の連携が図れるよう、必要に応じてリーダー会議を行う（3か月に一回）
子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	定期的集まったアンケートをまとめて公表する（年4回）
地域との「信認」の構築	今後も裏山の活動を深め、環境問題への意識を高め、園周辺のごみ拾いも継続して行っていく（月に4回5歳児保育で実施）